

Heart Warming Communication Over A Cup Of Coffee

# Café Brook's

2005  
SPRING  
Vol. 5

ブルックスの生活提案ブック

## my life, my coffee 番外編 マリ・クリスティーナ

コーヒー産地を訪ねて  
「自然農法で最高のコーヒーを作る国」

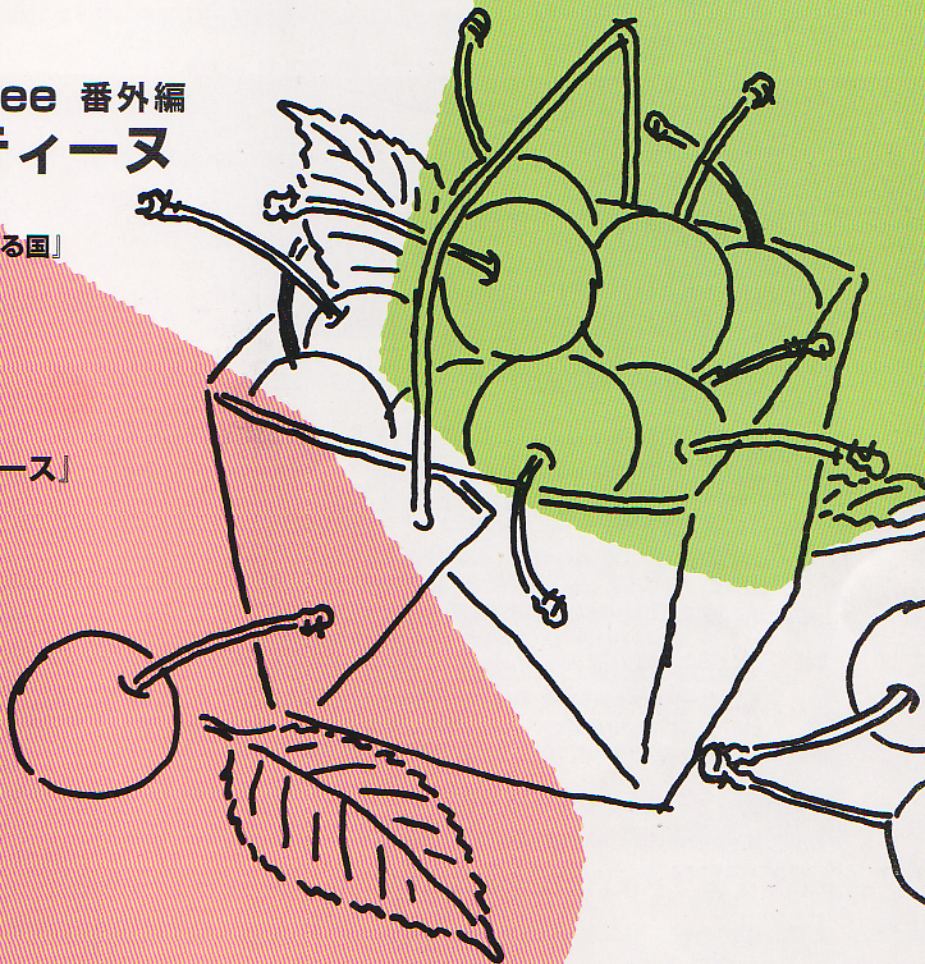
音楽家の一杯の珈琲 「喫茶店」

手作り大好き！  
春のおでかけトートバッグ

おすすめスイーツ  
「たっぷり苺のヨーグルトムース」

Blended coffee  
Cappuccino  
Caramel Cappuccino  
Iced coffee latte

Cafe creme  
Einspänner  
Espresso  
Hotchocolate  
Caffe latte Iced coffee  
Caffe mocha





# my life, my coffee 番外編

## マリ・クリスティーヌ

熱いご要望にお応えして、再度ご登場いただきました。

Profile / MARI CHRISTINE (異文化コミュニケーター)

父親の仕事に伴い4歳まで日本で暮らし、その後ドイツ、アメリカ、イラン、タイなど諸外国で生活。単身帰国後、上智大学国際学部比較文化学科卒業。この頃スカウトがきっかけで芸能界へ、94年に東京工業大学大学院理工学研究科社会学専攻修士課程修了。現在も都市工学を学んでいる。生まれながらの環境から学んだ幅広い視点から、国際会議・式典などの司会、講演活動も多数こなす。

コーヒーと私。

年齢を重ねるに連れて思う。  
よりナチュラルにゆったりと…  
自然体で生きることは豊かなこと。



私には、25年間くらい使っているコーヒーマグがあります。別に高価なモノではありませんが、あるテレビ番組でオランダに行った時に購入したもので、とても気に入っています。これだけ長く使い続けると、縁の部分に飲み口の形が付くんですね。つまり、私の飲み方の形になっているのです。

それを見ると、日本の志野焼きを思い出します。志野焼は、持っている人の性格や、性質が移ると言われます。女性が使うと、口紅の色が飲み口に付いたりして…。

作者の作品に対する気持ちや雰囲気、使う人の気持ちや使い方がプラスされて、だんだんと最初存在感から、別のモノに進化していくような素晴らしさがあると思います。

そのようなこともあって、最近はお焼餅や楽焼きなど、自分をその中に映し出してくれるような道具を選ぶようになりました。衝動買いが多いのですが…。

若い頃は、彩りとか意匠が鮮やかな伊万里が好きでしたが、最近はおもつと素朴で、表面に表情のあるものを

選ぶようになりました。自然体…とも言うのでしょうか。人って、やはりどこかで、自然に近づきたい、素直になりたいと常に思っているのかもしれない。

最近、コーヒーでも、オーガニックで作られたモノが話題になっていますが、その志向にも、そんな自然体という思いへの憧れや安心が形になって表われているのでしょう。

いろいろある世の中ですが、せめて、コーヒーを飲む時間だけは、自然にゆったりとありたいものです。

my life, my coffee